

参 考 1

【神崎宣武氏 プロフィール】

民俗学者。武蔵野美術大学在学中より宮本常一に師事。以後、国内外の民俗調査・研究に従事。国土審議会専門委員、文化審議会委員、公益財団法人伝統文化活性化国民協会理事などを歴任し、現在、旅の文化研究所所長、公益財団法人伊勢文化会議所五十鈴塾塾長、一般社団法人高梁川流域学校校長、東京農業大学客員教授などをつとめる。岡山県宇佐八幡神社宮司でもある。主著に、『経営の風土学—佐伯勇の生涯』（河出書房新社）、『物見遊山と日本人』（講談社）などがある。



【山口佳恵子氏 プロフィール】

大阪教育大学特設音楽課程・同専攻科修了。ソプラノ歌手として、米・伊・中国・韓国での国際交流と演奏会他、東京・大阪・奈良で演奏会、リサイタル開催。伊トスティ協会名誉会員、奈良芸能文化協会理事、奈良市国際音楽交流協議会副会長。社会貢献事業に熱心に取り組む。関西二期会・日本演奏連盟会員。ロシア王立アカデミーマルタ騎士団貴婦人の称号、文化芸術博士号、奈良新聞文化賞、伊共和国勲章イタリアの星等を授与される。



【角野卓造氏 プロフィール】

1948年、東京生まれ。大阪育ち。学習院大学卒業後、文学座附属演劇研究所（10期）を経て、文学座座員となる。以降、舞台、テレビ、映画、吹き替えなどジャンルを問わず幅広く活躍。紫綬褒章（2008年）はじめ受賞歴多数。現在も俳優業を中心に活動する一方、最近では旅や居酒屋めぐりといった趣味や自分の時間も大切にしている。主な出演作品・著書として、TBSテレビ『渡る世間は鬼ばかり』（シリーズ）、フジテレビ『HERO』（シリーズ）、『予約一名、角野卓造でございます（京都編）』などがある。



参 考 2

【旅の文化研究所 詳細】

「旅の文化研究所」は、近鉄グループホールディングス株式会社が運営する文化事業で、「旅の文化」を様々な観点から調査・研究し、その質的向上を図ることを目的に活動しています。

1. 設 立 1993年7月1日
2. 所 長 神崎宣武（民俗学者）
3. 事業概要

（1）調査・研究事業

「移動・旅・観光に関連する諸問題」を主な研究対象とし、恒常的な研究プロジェクトである「特定研究」と日本の大学院生等を対象とした「公募研究」を行っています。

➤ 特定研究

現在は「軽便鉄道の記憶」を研究テーマとしています。軽便鉄道にまつわる記憶をさまざまな角度から掘り起こし、地域社会において軽便鉄道が担ってきた役割を明らかにするとともに、軽便鉄道をとおしてみた旅と交通の変遷の諸相をとらえます。

➤ 公募研究

独創的かつ斬新な発想による研究プロジェクトを公募し、毎年4名ほどの研究プロジェクトを採択、研究費を支給しています。

（2）出版事業

旅の文化の調査・研究を行う当研究所では、その成果にもとづいた「研究報告」などのほか、季刊誌「まほら」の編集・発行を行っています。

また、当研究所が編纂し刊行された書籍は、主に以下の3つがあります。

- 2011年11月 『旅と観光の年表』（河出書房新社）
- 2016年 4月 『満蒙開拓青少年義勇軍の旅路』（森話社）
- 2017年10月 『旅の民俗』シリーズ（全3巻）（現代書館）

（3）研修・教育事業

旅の文化の調査・研究活動の成果を、フォーラムを通して公開しています。

- 前回の一般公開フォーラム「人はなぜ旅に出るのか—旅の歴史と民俗」（2017年10月31日開催）

旅のあり方と意義について講演したほか、旅芸人の門付け芸として受け継がれてきた津軽三味線を、第一人者である高橋竹山氏の弾語りでお楽しみいただきました。また、パネルディスカッション「旅の民俗—行商・芸能・観光」を実施、旅の文化の歴史と継承を考えました。

- 第24回旅の文化研究フォーラム（2018年4月8日開催）

「旅の文化」にまつわる研究成果の発表やパネルディスカッション「海外旅行事はじめ—幕末・明治の雄飛行—」を実施したほか「第25回旅の文化賞」の表彰式を行いました。

（4）顕彰（旅の文化賞）

「旅の文化」に貢献した諸活動の中から、特に独創的な旅の体験により、それを作品として紹介したり、諸活動を通じて旅の文化の質的向上に貢献した個人や団体を選考し顕彰しています。

（以上）